

# 徳川真弓

## ピアノリサイタル 2016 in 小城

～ヴォーリス建築空間から奏でられる3つの世界～



建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリスの根底に流れるヒューマニズムに基づく「あたたかさ」をもつ日本福音ルーテル小城教会の「場所」と「空間」と「リズム」から見つけだされた音楽を、ピアニスト徳川真弓が美しい3つの演奏による世界(ピアノ演奏、美しい日本語の語りによる楽しい音楽物語、小城高校合唱部と共につくる教会音楽)で奏でる地域への贈り物です。

ミュージックコンピューター 原 聡美



日時 **11月20日(日)**

開場 13:30 開演 14:00

会場 **日本福音ルーテル小城教会**

小城市小城町 170-2 TEL0952-72-3221

◆出演 徳川 真弓 ピアノ  
仙波 知司 語り  
小城高等学校合唱部


◆企画 原 聡美

◆プログラム  
プーランク 音楽物語「ぞうのババール」  
ドビュッシー アラベスク第1番  
リスト 愛の夢  
ショパン 別れの曲  
モーツァルト アヴェ・ヴェルム・コルプス 他

■入場料 全席自由  
一 般 2,500 円(税込)  
高校生以下 1,000 円(税込)

TOKUGAWA  
MAYUMI  
PIANO RECITAL  
2016 IN OGI



■主催 徳川真弓コンサート実行委員会  
■共催 佐賀大学音楽・空間研究会、The Little Salon 1341 、A・M・S 研究所  
■後援 佐賀市、佐賀市教育委員会、小城市教育委員会、日本・ノルウェー友好議員連盟  
佐賀新聞社、西日本新聞社、STS サガテレビ、NBC ラジオ佐賀、えびす FM

★お問合せ 佐賀大学音楽・空間研究会 ☎070-5815-8644 担当 木戸田

# ～出演者プロフィール～

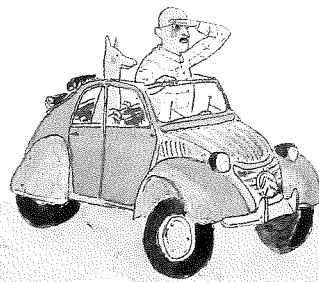


## 徳川 眞弓 (ピアノ)

- 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学器楽科ピアノ専攻卒業。在学中に大野和士氏指揮によりグリーグのピアノ協奏曲を演奏。
- ロータリー財団奨学生として米国インディアナ大学大学院に留学。修了後は同大学院指揮科ピアニストとして3年間勤務。その間学内オーケストラとラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を演奏する他、アスペン音楽祭(コロラド州)、20世紀の室内楽シリーズ(マドリッド)に参加、スペイン各地、カナダなどで演奏。
- ピアノを石塚信子、天田繁、勝谷壽子、井口秋子、エドワード・アウアー、ジョルジュ・シェボック、山岸麗子各氏に、室内楽をジョセフ・ギンゴールド、ヤーノシュ・シュタルケル各氏に師事。
- 帰国後はソロリサイタルをはじめ室内楽・伴奏など様々なコンサート活動を展開する一方、2003年から「マンハッタン・サロン・コンサート」「歌のおもちゃ箱」をプロデュースしている。
- 東日本大震災以降、自主リサイタルはC・W・ニコル氏の進める「震災復興プロジェクト・東松島に森の学校をつくる運動」へチャリティーしている。ディスク・クラシカよりCD「ポートレート」「子象パバールの物語」をリリース。「パバール」は【レコード芸術】の特選盤に選ばれた。日仏サロン文化協会より【サロン文化芸術賞】受賞。PTNA会員。Trio MVPメンバー。MOMOピアノ教室主宰。ホームページ<http://park8.wakwak.com/~toktok/>

## 仙波 知司 (語り)

- フルートを宮本明恭氏(当時NHK交響楽団首席)に師事。
- 立教大学フランス文学科卒業。在学中は作曲家・松平頼暁氏、音楽評論家・三浦淳史氏、バロック音楽研究家・皆川達夫氏に私淑。
- 1975 東芝EMI入社。「洋楽編集部」を皮切りに、営業部を経て、そののち制作を担当。第5制作(国内クラシック、学芸、カタログ企画部門)部長に。カセット企画「クラシック・エッセンス」で世界的なデザイン・コンテストCLIO賞パッケージ部門グランプリを受賞。「おめでとう紀子さま-マタニティ・モーツァルト」などで東芝EMIヒット賞多数受賞。森繁久彌&東儀秀樹「葉っぱのフレディー-いのちの旅」がレコード制作者にとって最高の荣誉である「レコード大賞・企画賞」に選ばれる。
- 2000 エイベックス・グループ入社。「avex io」設立。
- 2006 ディスク・クラシカ ジャパン設立。「ぞうのパバール」は1989年、『はじめてのクラシック』シリーズ第1作として初の日本語盤を制作(語り:忌野清志郎、ピアノ:高橋アキ)。その後も矢崎彦太郎:指揮(語り:幸田弘子)、徳川眞弓:ピアノ(語り:林望)と都合3種の盤を制作して愛着もひとしおであり、ナレーターとしてステージにも立っている。



©山本容子

## 原 聡 美 (企画)

- 音楽で人と地域を結ぶミュージックコミュニーター (Music Commuter) The Little Salon1341主宰、A・M・S研究所、佐賀大学音楽・空間研究会。
- 佐賀大学文化教育学部中学校課程音楽科卒業後、同大学附属小学校音楽非常勤講師、全学年を担当。お母さんコーラス、ブラスバンド部、合唱部を指導。佐賀県合唱コンクール小学校の部で金賞受賞。
- 明治・日本の産業革命遺産 三重津海軍所跡を世界遺産登録の為、佐賀大学地域学歴史文化研究センターでスタッフを務める。
- 2013年ミュージックコミュニーターとして、世界で活躍する音楽家と彼等の活動を日本、佐賀、小城に紹介する架け橋として活動すると同時に、人を癒す音楽をより身近に感じられるよう発信し続ける。建築空間と音楽を結びつけるために、建築家、ガラス作家、陶彫作家、他分野の作家とつくり上げる試みをして、現在に至る。

## 小城高校吹奏楽・合唱部／美術部

- 長い歴史の中で合唱部と吹奏楽部が統合され、現在は吹奏楽・合唱部として活動している。部員は3年生が引退した後、2年生17名、1年生13名の計30名である。部員全員が吹奏楽と合唱に取り組み、それぞれ夏のコンクールにも出場している。「歌うように楽器を吹き、楽器のように美しく声を響かす」ことを目指して練習に励んでいる。
- 主な活動は、小城高祭をはじめとする学校行事のほか、夏の吹奏楽コンクールと合唱コンクール、秋の高等学校総合文化祭や地域のイベント、施設訪問演奏、1年生だけで出場するヴォーカルアンサンブルコンテストなど。また3月には毎年、定期演奏会を開催している。
- このフライヤーの徳川眞弓先生のグラフィック・アートは、小城高校美術部(顧問:松尾健先生)が担当している。

## 徳川眞弓先生の演奏の世界

ピアニスト徳川眞弓先生は、東京文化会館など各地で演奏をなさるコンサート・ピアニストとして著名であられる。昨年夏に、私が『ポートレート』というCDを手にしたことが、今回のコンサートのスタートラインである。

このCDは、徳川先生がご自身の人生や関わられた方々との内的な対話を重ねながら作成されたとのこと。天賦の才にめぐまれ研鑽を重ねられた徳川先生の藝術は、孤高の峰にたたれることなく、私のような素人の心によりそい、いやしと感動を与えてくださる。

このほかにも徳川先生は、谷川俊太郎氏などの著名な詩人や翻訳者との対話をとおして、美しい日本語による楽しい音楽詩をご自身の演奏の世界として高められたり、わが国を代表する綺羅星のごとき藝術家との対話や共演が斯界で高く評価されるなど、新たな演奏の世界を確立されてこられた。これらの藝術性は、音楽詩のCDが『レコード芸術』特選盤に選ばれたり、演奏活動が【サロン文化芸術賞】を受賞されたり、と高い評価を受けている。

今回の小城市のピアノリサイタルでは、徳川先生の3つの演奏の世界(ピアノ独奏、美しい日本語の語りによる楽しい音楽詩、そして小城高校合唱部とつくる音楽空間)が、名建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズによる美しくも荘厳な教会堂で奏でられる。楽しくも気品あふれるこれらの演奏は、小城の人々の祈りといやしと誇りの空間であったこの教会堂に、感動と新たな息吹をもたらすことでしょう。

